

# 長崎北病院 伝言板 1月号

令和7年1月1日発行

新しき年、2025年。今年もよろしくお願ひいたします。今年北の方では大雪とのことですが、昨年を考えると比較的穏やかな新年でした。世界では紛争が続き、日本では災害が多かった昨年ですが、長崎は平穏でした。毎日普通に朝が来る、電気がつく、水が出る、食事がある。いつもの仕事ができる。当たり前、普通のありがたさに感謝しつつ生活したいと思ひます。



## 丸くなるな★星になれ

明けましておめでとうございます。長崎は穏やかな新年でした。しかし、年末からインフルエンザが猛威を振るっています。今年のタイプは感染力が強い。一家全滅や学級閉鎖などが相次いでいます。当院でも患者さん、職員の感染がちらほら。昨年の箱根駅伝ではインフルエンザでガタガタになったチームが続出。今年はある大学の監督さんが、最近20日間は寮から外出禁止にしました。床屋にも行けないので選手は皆髪が伸びてますとのこと。そのくらいしないと防げないようですが、一般には難しい。マスク、手洗い、早めに休んで人に感染させないなどで広げないことが大切です。コロナもじわりと増加中。気を引き締めましょう。



さて、昨年の当院は、皆様の変わらぬご利用や職員の頑張りもあって収入的には前年と変わりませんでした。しかし、昨年の診療報酬改定が実質マイナス改定でしたので収益は大幅減でした。お上(厚生労働省)のなさることですのでどうしようもありませんが、当院の診療が続けられなくなるのは困ります。そのためには当院も変わっていかなければなりません。これまでも少しずつ

変わってきました。例えば、当院では2001年に県内初の回復期病棟を開設。当初は当院だけでした。その後多くの病院が参入し、現在は20病院以上。長崎は全国有数の回復期病床過剰地域です。当然、同じことを漫然と続けていけばその他大勢。埋没し、淘汰されます。レベルアップ、工夫、特徴が無いと生き残れません。



箱根駅伝、青山学院の原監督。直近11年で8回の優勝を誇る。それでも『最初はトレーニング法や体調管理など新しいメソッドを開発して勝ってきた。しかし、今はどこの大学も同じことをやるようになった。以前と同じことをやっても勝てない。毎年毎年新しいことを考えて変えていかないと勝てません』と言う。確かに10年前の優勝タイムは最近では7-8番手にすぎません。さらに何か突出したもの、強みが必要です。三大駅伝と言われる3つの駅伝のうち箱根駅伝以外の2つの駅伝では青山学院は11年間でいずれも2回しか優勝はありません。最大で一番目立つ箱根駅伝では11年で8回優勝しています。照準を定めて結果を出すメソッド、工夫、実行があつての突出。青山学院に太田蒼生という選手がいる。他の大会やトラック競技では目立たなくても箱根では必ず衝撃的な結果を出す。「太田劇場！」と言われる。そこだけが目立つので「天才」と言われるが、箱根を走る1時間のために1年間練習し、イメージトレーニングを続ける。その結果での「太田劇場」。その時に力を出すためには地道なトレーニング、研究がある。近道はない。しかし、同じことを長くやると慣れてくる。なんとなく無難に、楽にやれる。角が取れて丸くなる。丸くなると全体は一見スムーズでよく見える。しかし突出した部分はなくなる。魅力が無い、成長がない、鈍重。他よりも突き出た部分が必要。突出した才能はなくても、何かを目指して続ければ飛び出してくる。



何か特技、突出がないと病院も生き残れない時代。サッポロビールのコマーシャル「丸くなるな星になれ」。好きです。(PS:ビールはサントリーが好きです)(A.S.)

